

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 1 月 17 日 (2013.1.17)

【公開番号】特開 2011-117991 (P2011-117991A)
 【公開日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-024
 【出願番号】特願 2009-272713 (P2009-272713)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 21/36 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 11/80 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 21/36

G 0 6 T 1/00 2 9 0 Z

G 0 6 T 11/80 A

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 11 月 21 日 (2012.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 2 】

本実施形態において、P C 1 0 0 は、1 つのスライド画像を表示範囲 D で表示するビュー（以下、スライドビュー）と、当該 1 つのスライド画像を含む複数のスライド画像の各サムネイル画像の一覧を表示するビュー（以下、サムネイルリストビュー）とを切り替えることが可能である。図 4 は、サムネイルリストビュー画面の例を示す図であり、図 5 は、スライドビュー画面の例を示す図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 6 】

また、本実施形態においては、ユーザは、当該サムネイルリストビュー画面 2 0 上で、任意のサムネイル画像 4 1 にマーク（付箋紙）を付けることができる。マークされたサムネイル画像 4 1 には、付箋紙画像 4 8 が重畳して表示される。P C 1 0 0 は、この付箋紙画像 4 8 を、複数の色に分けて表示することが可能である。またユーザは、一度付した付箋紙画像 4 8 を削除することも可能である。当該サムネイルリストビュー画面 2 0 の左端には、この付箋紙の色を例えば 4 色から選択するための色選択ボタン 4 9 及び付箋紙削除ボタン 5 4 が表示される。またユーザは、当該付箋紙画像 4 8 の付加とともに、メモを入力することが可能である。上記色選択ボタン 4 9 の下方には、そのメモを入力するためのメモ入力フィールド 5 6 が表示される。また色選択ボタン 4 9 の上方には、現在選択されているサムネイル画像 4 1 と同一の画像が表示される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 4 】

続いてCPU101は、RAM103に読み出されたタイルをデコードして、RAM103上のテクスチャバッファにデコード結果を格納する（ステップ64）。デコードが終了すると、テクスチャバッファ上にサムネイル画像41が生成される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 9 】

図6のフローチャートへ戻り、サムネイル画像41上のアノテーションのサイズが上記所定の閾値以上ならば（ステップ67のYes）、アノテーションを詳細表示にして、サムネイル画像41に重畳させる（ステップ69）。そしてCPU101は、上記テクスチャを描画して、上記サムネイルリストビュー画面20上に、詳細表示のアノテーションが合成されたサムネイル画像41を表示する（ステップ70）。詳細表示とは、アノテーション位置情報52とアノテーション文字情報53の表示である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 5 】

このような処理により、ユーザは所望の文字列に合致するサムネイル画像41のみを選択的に閲覧することができる。また上記サムネイル画像41のサイズが所定の閾値を下回り、サムネイル画像41上にアノテーション文字情報53が重畳されなくなった場合でも、ユーザは当該アノテーション文字情報53とサムネイル画像41との対応関係を確認せずとも、入力した文字列に関連するサムネイル画像41を閲覧できるようになる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

